



System Storage DCS3700 クイック・スタート・ガイド

お願い：本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

本書「クイック・スタート・ガイド」では、IBM® System Storage® DCS3700 ストレージ・サブシステム、パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム、および拡張装置の取り付けおよび構成に関する基本的な手順について説明します。

関連資料

DCS3700、パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム、および拡張装置について詳しくは、「*IBM System Storage DCS3700 ストレージ・サブシステム および パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム 取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド*」を参照してください。安全上の注意については、エンクロージャーに付属の Support DVD に収録されている、複数の言語で書かれた資料「*IBM Safety Information*」を参照してください。

ストレージ・エンクロージャーを取り付けるためにリフト工具を使用する方法について詳しくは、ご使用のリフト工具に付属の資料を参照してください。

DCS3700、パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム、およびその他の IBM System Storage 製品について学習するには、<http://ibmdsstorage.com/> にアクセスしてください。IBM System Storage ディスク・ストレージ・システムの最新情報については、<http://www.ibm.com/systems/support/storage/disk> にアクセスしてください。

取り付けの概要

ストレージ・エンクロージャーを取り付けるには、次の手順を実行する必要があります。

1. 2 ページの『取り付けに関する指針』
2. 4 ページの『リフト工具の注文』
3. 6 ページの『配送用ボックスの開梱』
4. 9 ページの『サポート・レールおよび背面ブラケットの取り付け』
5. 12 ページの『ハンドルの取り付けおよび取り外し』
6. 13 ページの『ラック・キャビネットへのストレージ・エンクロージャーの取り付け』
7. 15 ページの『DDM の取り付け』
8. 18 ページの『電源オン』
9. 19 ページの『ソフトウェアのインストール』
10. 20 ページの『ストレージ・サブシステムのディスカバリーとセットアップ』
11. 21 ページの『IBM Support Web サイトからの情報の入手』
12. 22 ページの『ストレージ・サブシステム・ファームウェアの更新』
13. 22 ページの『ストレージ・サブシステムの構成』

取り付けに関する指針

ラック・キャビネットに DCS3700、パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム、および拡張装置を取り付ける前に、次のガイドラインを確認してください。

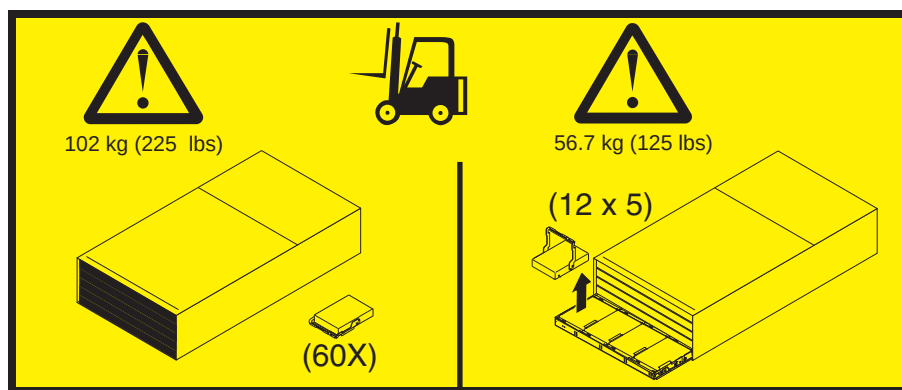
- この製品の取り付けと保守は、正規の IBM サービス担当員のみが実施できます。
- 配送時のストレージ・エンクロージャーはサイズが大きく重量があるので、カスタム設計のパッケージからエンクロージャーを取り出し、リフト工具に載せるために、リフト工具と最低 2 人のトレーニングを受けたサービス技術員が必要です。
- ストレージ・エンクロージャーは、装置の上部がラック・キャビネットの 32U マークより上、または装置の下部が 29U マークより上になるラック位置に取り付けてはなりません。
- 通気口を塞がないでください。通常は、15 cm のスペースがあれば適切な通気が可能です。
- ラック・キャビネット内で、取り付けたストレージ・エンクロージャーの上下にスペースを空けないでください。ストレージ・エンクロージャーのコンポーネントの損傷を防ぐために、必ずブランク・フィラー・パネルを取り付けて空いたスペースを塞ぎ、適切な空気循環を保ってください。
- ストレージ・エンクロージャーは、通気孔のあるドアを備えたラック・キャビネットのみに取り付けしてください。
- ラック・キャビネットの一番下から装置の取り付けを始めるように計画してください。
- 最も重い装置を、ラック・キャビネットの一番下に取り付けてください。
- ラック・キャビネットから同時に 2 台以上の装置を引き出さないでください。
- 取り付け中に内部に手が届きやすいように、ラックのドアとサイド・パネルを取り外してください。ストレージ・エンクロージャーを取り付けるラック位置によっては、ドアをラックに固定するブラケットを取り外す必要が生じることがあります。これは、ブラケットがストレージ・エンクロージャーのハンドルを操作する妨げになる場合があるからです。

危険

ストレージ・エンクロージャーは、正しく接地されたコンセントに接続してください。ストレージ・エンクロージャーは、200 V から 240 V の給電部のみに対応しています。サポートされる PDU と 60 A 電源コードを備えた IBM ラックを使用していない場合は、ご使用の PDU または給電部を調べて、DCS3700 ストレージ・サブシステム、およびパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムの電圧と電流を処理できることを確認してください。ラック・キャビネットに複数の装置を取り付ける場合は、電源コンセントが過負荷にならないようにしてください。

- 次の要件を満たすラック・キャビネットに、ストレージ・エンクロージャーを取り付けます。
 - 前面サポート・フランジと前面ドア内部の間の縦の長さが最小 70 mm である。
 - 背面サポート・フランジと背面ドア内部の間の縦の長さが最小 157 mm である。
 - ケーブル・マネジメント・アームの使用に対応するために、前面と背面のサポート・フランジ間に最小 762 mm の縦の長さがある。
- IBM 以外のラックにストレージ・エンクロージャーを取り付ける方法については、「*IBM System Storage DCS3700 ストレージ・サブシステム および パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム 取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド*」の『IBM 以外のラックの取り付け仕様』セクションを参照してください。





重要:

1. 配送時のストレージ・エンクロージャーはサイズが大きく重量があるので、カスタム設計のパッケージからエンクロージャーを取り出し、リフト工具に載せるために、リフト工具と最低 2 人のトレーニングを受けたサービス技術員が必要です。リフト工具がない場合は、「*IBM System Storage DCS3700 ストレージ・サブシステム および パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム 取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド*」の付録 E、『コンポーネントの重量』で追加情報を参照してください。
2. DCS3700 ストレージ・サブシステム、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムのエンクロージャーが取り付けられたラックを移動または再配置するときは、事前に「*IBM System Storage DCS3700 ストレージ・サブシステム および パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム 取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド*」の『装置を取り付けてあるラックの再配置』で追加情報を参照してください。

リフト工具の注文

DCS3700 ストレージ・サブシステム、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムをラック・キャビネットに取り付けるとき、および DCS3700 ストレージ・サブシステム、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムをラック・キャビネットから取り外すときに、リフト工具を使用する必要があります。取り付け時には、必ずリフト工具をその現場に用意しておいてください。リフト工具の注文手順は、ロケーションによって異なります。これらの手順に関する疑問点は、地域の担当員にお尋ねください。

ワールド・トレード・ロケーション

次の注文手順は、ワールド・トレード・ロケーション用のものです。

- 他の部品の場合と同様に、部品注文システムを使用してリフト工具を注文します。
- 注文の際には部品番号 09P2481 を使用します。
- 部品の用途は記録しません。
- DCS3700 ストレージ・サブシステム、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムの取り付けまたは取り外しを完了したら、部品センターにリフト工具を返却します。

米国ロケーション

米国では、UPS Logistics (800-528-6070) に電話してリフト工具を注文するか、IBM イン트라ネット上の MTS/Test Equipment Service Center Web サイト (<http://pokgsa.ibm.com/~tstesc/public/>) にアクセスして、追加情報を入手します。

注: MTS/Test Equipment Service Center Web サイトにアクセスできるユーザーは、IBM イン트라ネットへのアクセス権限を持った IBM 従業員のみです。

SSR ブランチと地域の場合、米国では、部品注文システムを通じてリフト工具を注文することはできません。リフト工具の配送と返却には、UPS Logistics を利用してください。リフト工具を注文する際には、部品番号 09P2481 を使用します。

リフト工具を注文する際には、次の情報を提供する必要があります。この情報は、リフト工具が必要なときに確実に配送されるようにするために必要です。この情報を提供しなければ、注文要求と配送要求の完了が遅れることがあります。また、必要なものとは異なる工具を返却するための日時を設定する必要が生じることもあります。

- 電話番号およびお客様の連絡先
- アカウント・コード: 98577
- 配送日時
- 郵便番号の付いた正確な宛先住所
- 返却の集荷日時

注: リフト工具を注文すると、18 インチ・ロード・プレートが付属します。

UPS Logistics とともに予定を決めた日時に、リフト工具を返却する必要があります。予定の返却日時を変更する必要がある場合は、UPS Logistics に連絡を取ってください。リフト工具の配送用コンテナに書類とコンポーネントがすべて梱包され、元通りの状態になっているようにすることは、お客様の責任です。リフト工具を UPS Logistics に返却する前に、この工具が正しく機能することを確認してください。UPS Logistics がリフト工具を部品保管施設に返送するために引き取るまで、お客様はリフト工具に対する責任

を負います。疑問点やお問い合わせについては、担当営業所の工具コーディネーターまたは地域のスペシャリストにご連絡ください。

配送用ボックスの開梱

重要: サポート・レールがラック・キャビネットに取り付けられるまで、ストレージ・エンクロージャーを配送用ボックスから取り出さないでください。ストレージ・エンクロージャーを取り付ける前に、ラック・キャビネットにサポート・レールを取り付ける必要があります。

ストレージ・エンクロージャーに付属のディスク・ドライブ・モジュール (DDM) は、配送用ボックス内の小さなボックスに収納されています。配送用ボックスを開梱するには、次の手順で行います。

1. 配送用ボックスから次の品目を取り出します。この時点では、配送用ボックスから DCS3700 ストレージ・サブシステム、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムを取り出さないでください。

- DDM を収納した、または空のボックス 6 個

注: 1 つのボックスに 10 個の DDM が収納されています。DDM の最小注文数量は 20 個なので、少なくとも 2 つのボックスの中身は詰まっています。DDM の最大数量 60 個より少ない数を注文した場合は、ボックスのうち 1 つ以上が空になります。

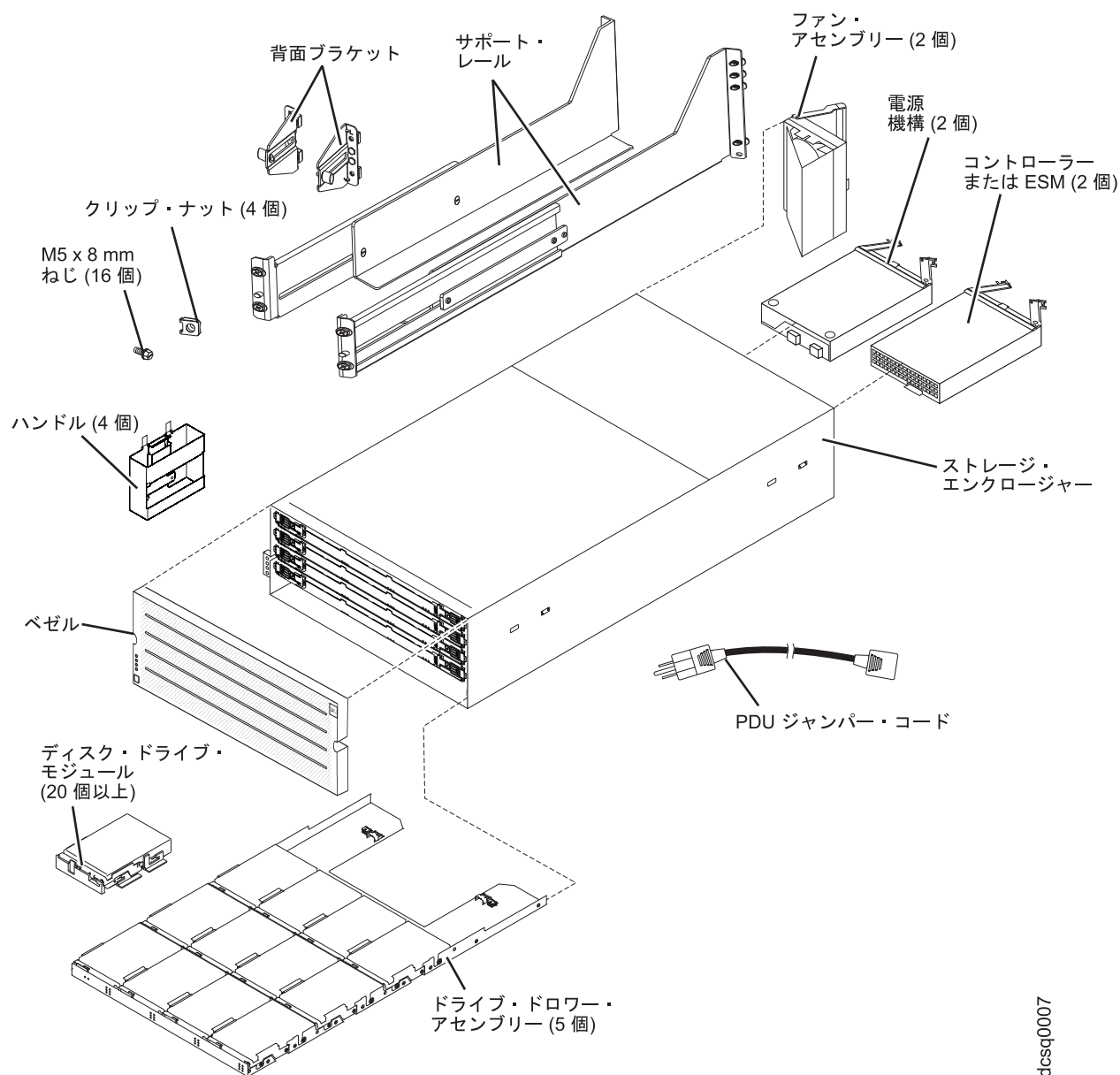
- 取り付け金具キットを含むボックス
 - ストレージ・エンクロージャーのハンドルが入ったボックス
 - 電源コードおよび資料が入ったボックス
2. 上記のリストにある品目を調べて、必要な部品をすべて受け取ったことを確認してください。ストレージ・エンクロージャーに付属の部品については、7 ページの『品目リスト』を参照してください。

品目リスト

次に示すイラストと品目リストは、ラック・キャビネットにストレージ・エンクロージャーを取り付けるために必要な品目を示しています。いずれかの品目が欠落または損傷している場合は、購入先にお問い合わせください。

注:

1. イラストは、ご使用のハードウェアとは少し異なる場合があります。
2. DCS3700 ストレージ・サブシステム、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムの注文内容によっては、次のイラストには示されていない追加の品目が配送用ボックスに含まれていることがあります。



DCS3700 ストレージ・サブシステム、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムを梱包から取り出した後、次の品目が揃っていることを確認します。

- 高さ 4U のストレージ・エンクロージャー (1)

- ドライブ・ドロワー・アセンブリー (5 個)
- ファン・アセンブリー (2 個)
- 電源機構 (2 個)
- コントローラー (2 個) (1818-80C を注文した場合)
- ESM (2 個) (1818-80E を注文した場合)
- ハンドル (4 個)、配送用ボックス内の小さなボックスに収納
- DDM (注文内容に応じて、20 個またはそれ以上)、配送用ボックス内の小さなボックスに収納
- ベゼル (1 個)
- ラック・マウント金具キット (1 個)、配送用ボックス内の小さなボックスに収納されており、次のものを含む
 - レール (2 個)、左右それぞれのアセンブリー
 - 背面ブラケット (2 個)
 - M5 黒六角頭マイナスねじ (16 個)

注: ねじはサポート・レールに取り付け済み、またはプラスチック袋に収納されています。

- ワッシャー (8 個)
- クリップ・ナット (4 個)

重要: DCS3700 ストレージ・サブシステム、およびパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムには、地域固有の AC 電源コードは付属していません。ご使用の地域に適した、IBM 認定の電源コードを入手する必要があります。詳しくは、「*IBM System Storage DCS3700 ストレージ・サブシステム および パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム 取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド*」を参照してください。

工具

ストレージ・エンクロージャーを取り付ける前に、取り付け作業を行うエリアでインターネット接続が使用できることと、次の工具が必要です。

- ストレージ・エンクロージャーとそのコンポーネントを載せるリフト工具
- ケーブル・コネクターのラベル
- 中サイズのマイナス・ドライバー
- No. 2 プラス・ドライバーまたは M5 六角ドライバー
- 帯電防止保護

サポート・レールおよび背面ブラケットの取り付け

注: 19 ページと 20 ページに示した前面用および背面用のラック・マウント・テンプレートを使用して、サポート・レールと背面ブラケットを正しいラック穴に位置合わせします。サポート・レールを既存のストレージ・サブシステムまたはストレージ・エンクロージャーの上に取り付ける場合は、DCS3700、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムのサポート・レールをそのすぐ上に配置します。サポート・レールを既存のストレージ・サブシステムまたはストレージ・エンクロージャーの下に取り付ける場合は、DCS3700、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムに対して垂直方向に 178 mm の間隔を空けます。

ラック・キャビネットに左右のサポート・レールを取り付けるには、次の手順で行います。23 ページと 24 ページに示した前面用および背面用のラック・マウント・テンプレートを使用して、サポート・レールと背面ブラケットを正しいラック穴に位置合わせします。サポート・レールを既存のストレージ・サブシステムまたはストレージ・エンクロージャーの上に取り付ける場合は、DCS3700、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・システムのサポート・レールをそのすぐ上に配置します。サポート・レールを既存のストレージ・サブシステムまたはストレージ・エンクロージャーの下に取り付ける場合は、DCS3700 ストレージ・サブシステム、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムに対して垂直方向に 178 mm の間隔を空けます。

1. ラックが既に取り付け済みであることを確認します。
2. 安定板がラックの下部前面に正しく取り付けられていて、ストレージ・エンクロージャーの取り付け中にラックが手前に倒れないようになっていることを確認します。

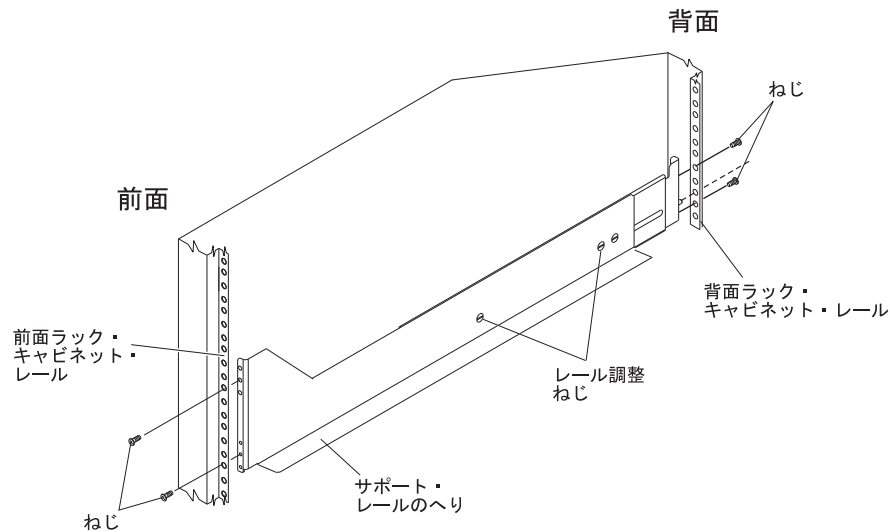
必要に応じて、ラックの取り付けと保守のガイド、あるいは同等の資料を参照してください。

3. ストレージ・エンクロージャーに付属の 2 本のサポート・レール、8 個の M5 ねじ、および 8 個のワッシャーを見つけてます。

注: ねじとワッシャーは既にサポート・レールに取り付けられていることがあります。その場合は、サポート・レールから取り外します。

4. 左側のサポート・レールから作業を始めます。中サイズのマイナス・ドライバーを使用して 2 つのレール調整ねじを緩めます。調整ねじは、サポート・レールを一定の長さでロックするために使用します。

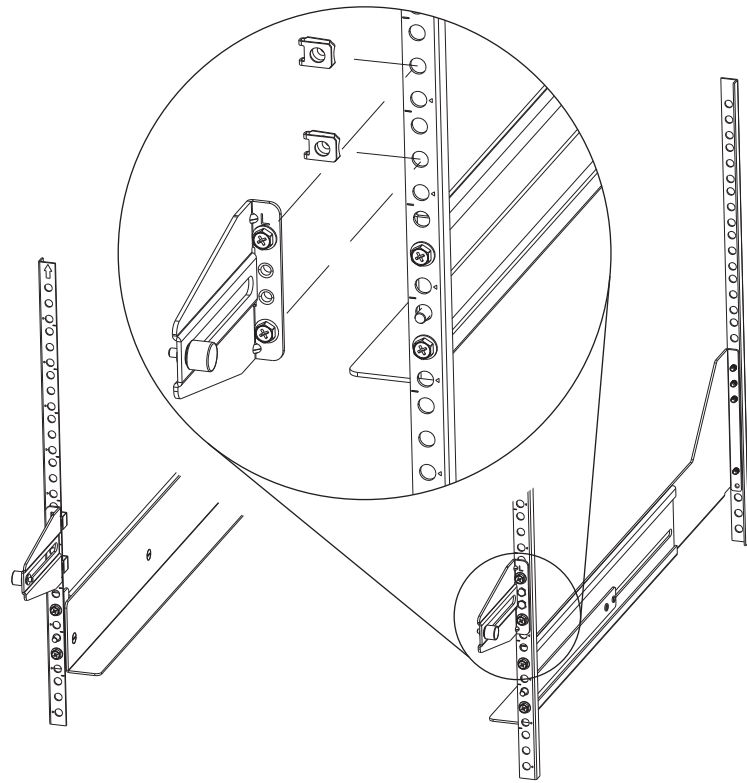
注: サポート・レールは「左」または「右」といったマークはされていません。ただし、個々のレールは、ラック・キャビネットの 1 つの側にのみ正しく取り付けることができるようになっています。レールは調整ピンでラックの背面に取り付ける必要があります。



5. ラック・キャビネットの前面サポート・フランジの内側に合わせて左側のサポート・レールを持ち、ラック・キャビネットの背面サポート・フランジに接触するまでサポート・レールの後部を延ばします。サポート・レールの後部にある調整ピンが、ラック・キャビネットの背面にある取り付け穴にはまります。サポート・レールの幅の広い方の端が、ラック・キャビネットの前面を向くようにする必要があります。
6. ラック・キャビネットの前面から、サポート・レールのフランジがラック・キャビネットのサポート・レール・アセンブリーの内側に位置した状態で、ワッシャー付きの 2 個の M5 ねじをキャビネット前面側を通して、サポート・レールの前面フランジに締め付けます。ラック・マウント・フランジの四角い穴を通して M5 ねじを取り付ける場合は、必ずワッシャーを使用してください。
重要: ストレージ・エンクロージャーの重みを十分に支える程度にねじを締めますが、まだ完全には締め付けしないでください。
7. 上部側の取り付けねじの上および下にあるレールの穴が、ラック・フランジの穴を通して見えるようになっていないことを確認し、2 個の M5 ねじを締めて、レールの前面側をラック・フランジに固定します。
8. ラック・キャビネットの背面から作業して、キャビネットの背面を通して 2 つの M5 ねじをワッシャーとともに差し込み、サポート・レール背面フランジに締め付けます。
9. 中サイズのマイナス・ドライバーを使用して 2 つのレール調整ねじを締めます。
10. 右側のサポート・レールに対して、ステップ 4 (9 ページ) から 9 を繰り返します。

注: ラックの取り付け穴のサイズは必ずしも取り付けねじと同じではないので、それぞれのサポート・レールのヘリがまっすぐ平らになっていない場合があります。必要に応じて微調整し、左右のサポート・レールのヘリがラック上でまっすぐ平らになっていることを確認してください。そうしないと、ストレージ・エンクロージャーがラックに均等に収まらない原因になります。

11. ストレージ・エンクロージャーに付属の 2 個の背面ブラケット、4 個の M5 ねじ、4 個のワッシャー、および 4 個のクリップ・ナットを見つけます。
12. 次の図に示すように、M5 ねじ、ワッシャー、およびクリップ・ナットを使用して背面ブラケットをラックの背面に取り付け、ブラケットをラック取り付け穴に固定します。



ハンドルの取り付けおよび取り外し

装置をリフト工具の上に移す前に、ストレージ・エンクロージャーにハンドルを取り付けます。ラック・キャビネットにストレージ・エンクロージャーを取り付けてハンドルを取り外したら、ハンドルは後で使用するために保管しておきます。

ハンドルの取り付け

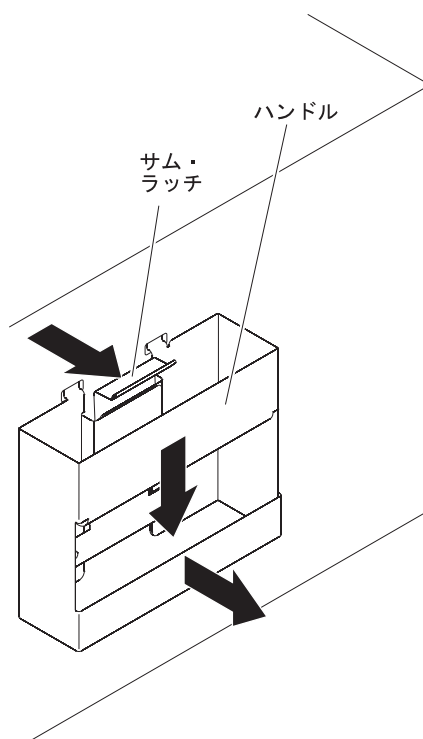
ストレージ・エンクロージャーにハンドルを取り付けるには、次の手順で行います。

1. ハンドルが入ったボックスを見つけます。
2. ハンドルをストレージ・エンクロージャーに取り付けるには、ハンドル下部のノッチをストレージ・エンクロージャーのシャーシの開口部に合わせ、ハンドルを押し入れて持ち上げ、ハンドル上部のラッチを掛けてハンドルをシャーシに固定します。
3. 残り 3 つのハンドルに対して、ステップ 2 を繰り返します。

ハンドルの取り外し

ストレージ・エンクロージャーをラック・キャビネットに完全に取り付ける前に、ハンドルを取り外す必要があります。ストレージ・エンクロージャーからハンドルを取り外すには、次の手順で行います。

1. ストレージ・エンクロージャーのハンドルを取り外すには、親指でラッチを解放し、ハンドルを引き下げてユニットから外します。
2. 残り 3 つのハンドルに対して、ステップ 1 を繰り返します。
3. ハンドルは後で使用するために保管しておきます。

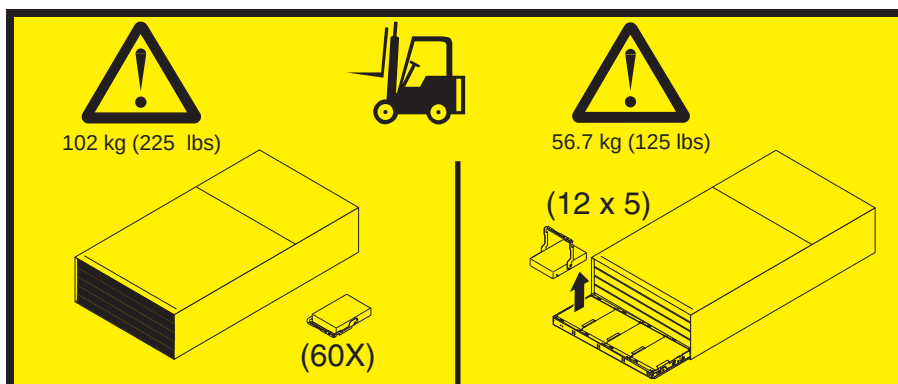


ラック・キャビネットへのストレージ・エンクロージャーの取り付け

ストレージ・エンクロージャーを取り付けるには、以下の手順を実行します。

注: リフト工具を使用する方法について詳しくは、リフト工具に付属の資料を参照してください。

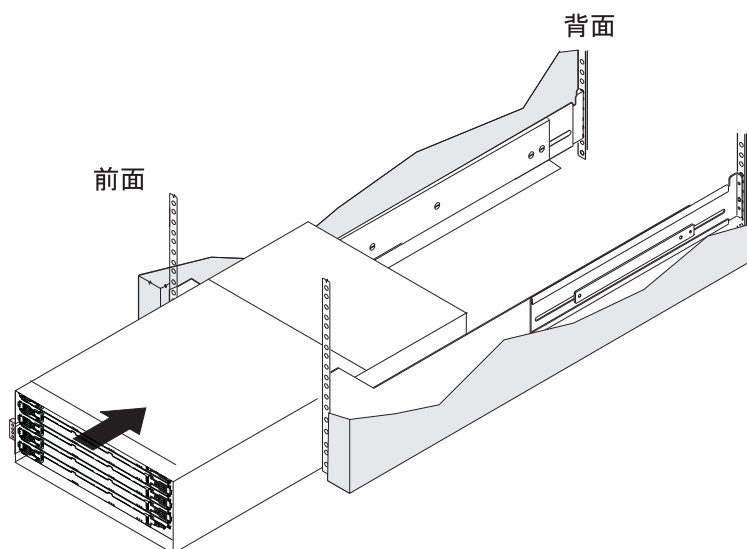
1. ストレージ・エンクロージャーを取り付けるための準備を行います。
 - a. 配送用ボックスのいずれかの側面を向くように、リフト工具を位置づけます。
 - b. ストレージ・エンクロージャーの側面や端から、発泡スチロールの梱包材を取り除きます。
 - c. 必要な場合は、リフト工具がストレージ・エンクロージャーに届くように、配送用ボックスの側面を切り取ります。
 - d. プラスチックの袋を開け、ストレージ・エンクロージャーの下にしまっておきます。プラスチック袋によって摩擦が少なくなるので、装置をスライドさせて配送用ボックスからリフト工具に載せたり、リフト工具からラック・キャビネットに載せたりする作業が容易になります。
 - e. ストレージ・エンクロージャーの側面に 4 つのハンドルを取り付けます。詳しい手順については、12 ページの『ハンドルの取り付けおよび取り外し』を参照してください。



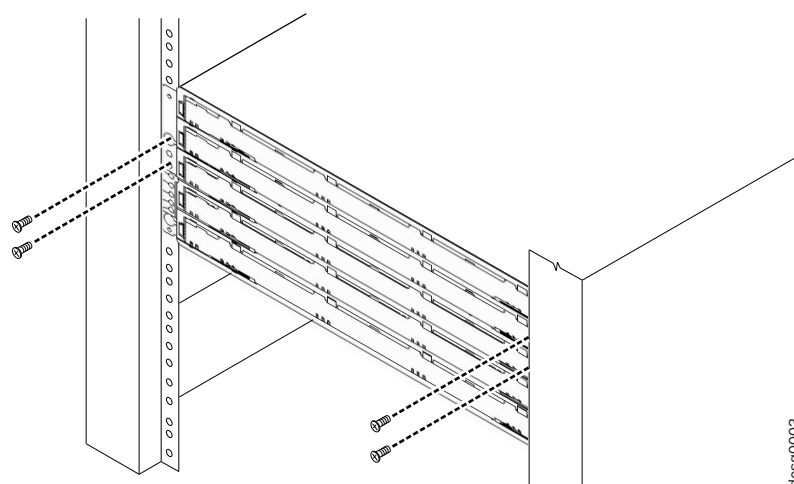
重要:

- a. 配送時のストレージ・エンクロージャーはサイズが大きく重量があるので、カスタム設計のパッケージからエンクロージャーを取り出し、リフト工具に載せるために、リフト工具と最低 2 人のトレーニングを受けたサービス技術員が必要です。リフト工具がない場合は、「*IBM System Storage DCS3700 ストレージ・サブシステム および パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム 取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド*」の付録 E、『コンポーネントの重量』で追加情報を参照してください。
 - b. DCS3700 ストレージ・エンクロージャーが取り付けられたラックを移動または再配置するときは、事前に「*IBM System Storage DCS3700 ストレージ・サブシステム および パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム 取り付け、メンテナンスおよびユーザーのガイド*」の『装置を取り付けてあるラックの再配置』で追加情報を参照してください。
2. リフト工具を使用し、最低 2 人のトレーニングを受けたサービス技術員、あるいは運送業者の助けを借りて、ストレージ・エンクロージャーを配送用ボックスの側面からスライドさせ、リフト工具に載せます。ラックの前面でストレージ拡張エンクロージャーの位置を合わせます。
 3. ストレージ・エンクロージャーの後端をサポート・レールに載せます。

4. ストレージ・エンクロージャーの背面にある 2 つのハンドル (両側に 1 つずつ) を取り外します。前面ハンドルは装置の両側から取り外さないでください。
5. ストレージ・エンクロージャーをスライドさせてラックに途中まで入れます。装置の前面にある残り 2 つのハンドルを取り外します。



6. ストレージ・エンクロージャーの前面から、ラックの各側の上部にある M5 ねじの上と下に 2 個の M5 ねじを取り付けて締め、シャーシをラック・フランジに固定します。

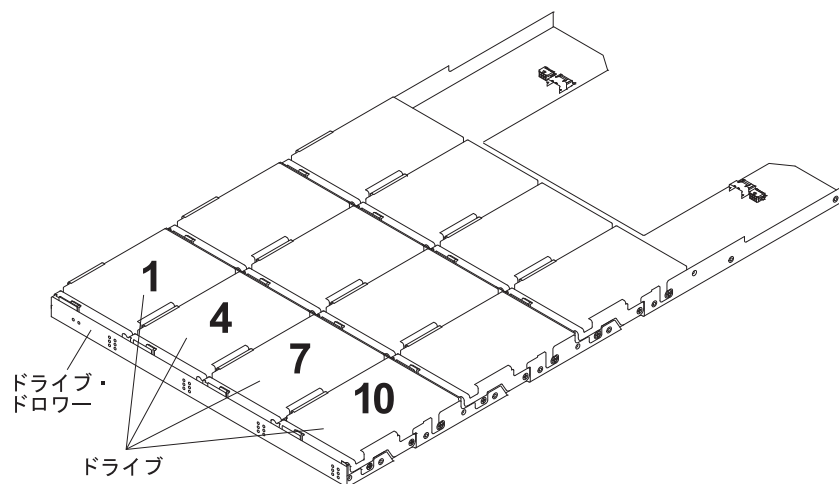


7. すべての M5 ねじを締めて、ストレージ・エンクロージャーの背面をラック・キャビネットに固定します。
8. 背面ブラケットのつまみねじを回して、背面ブラケットをストレージ・エンクロージャーの側面に取り付けます。ねじ穴は、ラック・フランジから約 51 mm の位置にあります。

注: つまみねじを装置の穴に合わせるには、背面ブラケットをラック・キャビネットに取り付けているねじを緩める必要が生じることがあります。

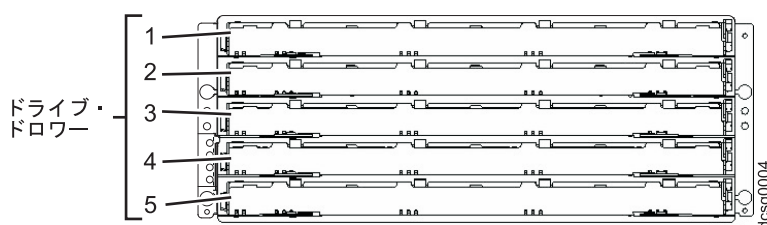
DDM の取り付け

重要: 各ドロワー内での取り付け順序は、DCS3700 ストレージ・サブシステム、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 の前面から見て各列で左から右への順です。スロット 1、4、7、および 10 には DDM を取り付ける必要があります。各列の 4 つの DDM が互いに隣接していることを確認してください。各 DDM の長辺が、その隣の DDM に接触している必要があります。すべてのドロワーにわたって均一に通気を維持するために、各ドライブ・ドロワーの前面の列に最小 4 つの DDM を取り付けてストレージ・エンクロージャーを構成する必要があります。



注:

1. ドライブ・ドロワーは DCS3700 ストレージ・サブシステム、およびパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムに取り付け済みですが、DDM はドライブ・ドロワーとは別に出荷されます。
2. ストレージ・エンクロージャーのラック・キャビネットへの取り付けは、必ず DDM をストレージ・エンクロージャーに取り付ける前に行ってください。



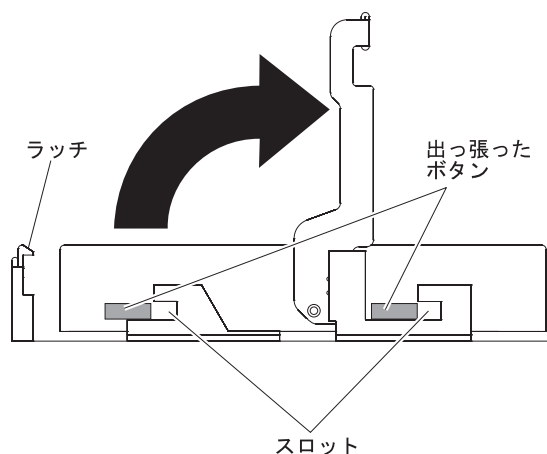
ドライブ・ドロワーに DDM を取り付けるには、次の手順で行います。

1. イラストに示すように、ドロワーの 2 つの解放レバーを開きます。ストレージ・エンクロージャー内で最上部にあるドライブ・ドロワーから始めて、ドロワーの両側に付いているレバーをシャーシの外側に向かって引いて回転させ、ドロワーを解放します。



2. 解放レバーを完全に伸ばした状態で、ドロワーを最後まで引き出します。ただし、エンクロージャーからドロワーを取り出さないでください。

3. 最初の DDM から始めて、DDM ハンドルを垂直位置に持ち上げます。



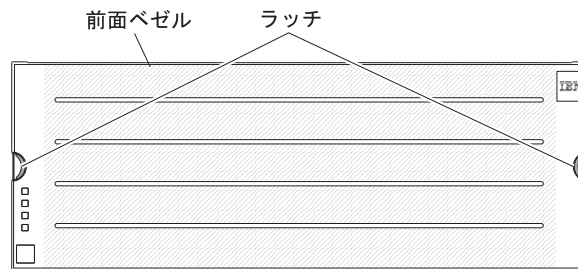
4. 側面にある出っ張ったボタンを、ドロワーの DDM チャンネル内で一致するスロットに合わせます。ドロワーの上に DDM を下ろし、DDM 解放レバーの下に正しい位置に DDM が音を立ててはまるまで、DDM ハンドルを回転させます。

注:

- ディスク・ドロワーのドライブ・コネクタに DDM が完全にはまっていないようならば、ドライブを取り付ける際にドライブの後部に下向きの圧力をかけます。
 - ストレージ・エンクロージャーの電源がオンになっている場合は、ドライブ・ドロワーにそれぞれの DDM を取り付けた後、少なくとも 90 秒は待つ必要があります。このようにしなければ、ストレージ・エンクロージャーが新しい DDM を認識しないか、DDM に障害があると認識するか、またはドライブを非互換として認識することがあります。この問題が発生した場合は、DDM のラッチを外し、90 秒待ってから、再び DDM のラッチを掛けます。
5. 少なくともドライブ・ドロワーの最前列に 4 つの DDM が取り付けられるまで、各列の左から右に他の DDM を取り付けます。
6. ドライブ・ドロワーをカチッという音がするまでストレージ・エンクロージャーに押し込み、ドロワーの両側のレバーを閉じます。

重要: 両側のレバーを元どおり完全にドライブ・ドロワーに押し付けて、ドライブ・ドロワーを閉じるようにしてください。ドライブ・ドロワーが完全に閉じていないと、装置の通気が過剰になり、DDM の損傷を引き起こす可能性があります。ドライブ・ドロワーが完全に閉じていないと、別のドロワーを開くことができなくなります。別のドロワーを無理に開けようとすると、両方のドロワーを損傷する恐れがあります。

7. 構成内のそれぞれのドライブ・ドロワーに対して、ステップ 1 (15 ページ) から 6 を繰り返します。
8. 次の図に示すように、ストレージ・エンクロージャーの前面にベゼルを配置します。



9. ベゼルの上部と下部にあるタブをストレージ・エンクロージャーの前面のスロットに合わせ、ベゼルの側面にあるピンをストレージ・エンクロージャーの穴に合わせます。ベゼルの側面にあるラッチが正しい位置にロックされるまで、装置の前面にベゼルを押し込みます。

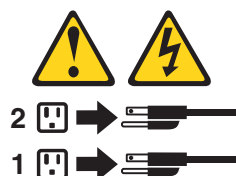
電源オン

注記 5:



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電力を除去するには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



重要: 次の手順に示した順序で、電源シーケンスを実行する必要があります。2 つの電源機構を備えたエンクロージャーで電源の冗長化を実現するには、ラック・キャビネット内で少なくとも 2 つの電力配分装置 (PDU) を使用してください。各エンクロージャーからの電源接続は、別々の PDU に振り分けます。その後、別々の回路上にある外部電源コンセントに PDU を接続します。

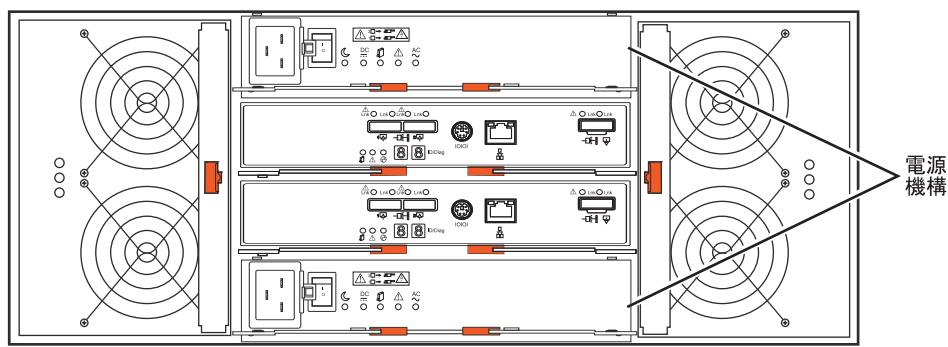
ストレージ・エンクロージャーは、200 V から 240 V の給電部のみに対応しています。また、DCS3700、あるいはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムで必要な電圧と電流に適合するラック PDU 用の特殊なケーブルを購入する必要があることもあります。サポートされる PDU と 60 A 電源コードを備えた IBM ラックを使用していない場合は、ご使用の PDU または給電部を調べて、DCS3700、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムの電圧と電流を処理できることを確認してください。

正しい順序でストレージ・エンクロージャーの電源をオンにするには、以下の手順を実行します。

1. ストレージ・エンクロージャーの背面にある電源スイッチをすべてオフにします。電源コードがすべて接続されていることを確認してください。
2. ラック・キャビネット内のメイン回路ブレーカー・スイッチの電源がオフの場合、オンにします。
3. 各ストレージ拡張エンクロージャーの電源スイッチをオンにします。
4. ストレージ・サブシステムの電源スイッチを両方ともオンにします。

注: ストレージ・サブシステムとストレージ拡張エンクロージャーの電源をオフにする際には、前述の手順を逆順で行います。まずストレージ・サブシステムの電源をオフにしてから、ストレージ拡張エンクロージャーの電源をオフにします。

次の図は、電源機構と DCS3700 ストレージ・サブシステム装置の背面図を示しています。DCS3700 ストレージ・サブシステム、パフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステム、および DCS3700 ストレージ・サブシステム拡張装置の場合、電源機構は同じ位置にあります。



ソフトウェアのインストール

ストレージ・サブシステムに関連するコンピューターには 2 つのタイプがあります。ホスト は、入出力 (I/O) をストレージ・サブシステム LUN に送信します。管理ステーション はストレージ・サブシステムを管理します。1 つのコンピューターは、ホスト、管理ステーション、またはその両方として機能できます。このセクションを使用して、IBM System Storage DS ストレージ・マネージャー・ソフトウェアを管理ステーションまたはホストにインストールします。

注: ご使用のオペレーティング・システム用の最新バージョンのストレージ・マネージャー・ソフトウェアは、IBM Support Web サイトに掲載されています。詳しくは、21 ページの『IBM Support Web サイトからの情報の入手』を参照してください。ストレージ・サブシステムに付属の *DS Storage Manager* DVD に入っているソフトウェアのバージョンは、最新バージョンではないことがあります。

管理ステーションへのストレージ・マネージャーのインストール

ストレージ・マネージャー・ソフトウェアを管理ワークステーションにインストールするには、以下の手順を実行します。

1. インターネットにアクセスできる場合は、IBM Support Web サイトから最新バージョンのストレージ・マネージャー・ソフトウェアをダウンロードします (詳しくは、21 ページの『IBM Support Web サイトからの情報の入手』を参照)。インターネットにアクセスできない場合は、*DS Storage Manager* DVD を管理ワークステーションに挿入し、ご使用のオペレーティング・システムに対応するディレクトリーを見つけます。

注: 管理ステーションが実行するオペレーティング・システムのタイプが、*DS Storage Manager* DVD で見つける必要があるディレクトリーです。詳しくは、*DS Storage Manager* DVD に収録されているオペレーティング・システムおよびデバイス・ドライバの README ファイルを参照してください。

2. Storage Manager 実行可能ファイルをダブルクリックします。セットアップ・ウィザードの説明に従います。プロンプトが出されたら、以下のオプションの 1 つを必ず選択してください。
 - コンピューターを管理ステーションとしてのみ使用する場合は、「**Management Station (管理ステーション)**」をクリックします。
 - コンピューターを管理ステーションおよびホストとして使用する場合は、「**Typical (full installation) (標準 (フルインストール))**」をクリックします。
3. このコンピューターをモニターとしてのみ指定する場合は、プロンプトが出されたら「**Automatically Start Monitor (自動的にモニターを開始する)**」を選択します。

注: 追加のコンピューターでストレージ・サブシステムを管理する場合、追加のコンピューターをセットアップするときに、「**Automatically Start Monitor (自動的にモニターを開始する)**」をクリックしないでください。代わりに、プロンプトが出されたら、「**Do Not Automatically Start Monitor (自動的にモニターを開始しない)**」をクリックします。そうしないと、ストレージ・サブシステムに問題が生じた場合に、複数のアラート通知が送信されます。

ホストへのソフトウェアのインストール

ソフトウェアをホストにインストールするには、以下の手順を実行します。

1. 現行の HBA (ホスト・バス・アダプター) について、HBA BIOS とデバイス・ドライバのバージョンを確認します。必要に応じて、ソフトウェアをインストールする前に、IBM Support Web サイトに示されている現行レベルに更新します (詳しくは、21 ページの『IBM Support Web サイトからの情報の入手』を参照)。

注: HBA の BIOS およびデバイス・ドライバは、IBM Support Web サイトから直接入手してください。詳しくは、21 ページの『IBM Support Web サイトからの情報の入手』を参照してください。

2. ホスト HBA からストレージ・サブシステム・コントローラーへのバスを管理するには、マルチパス・ドライバをインストールします。詳しくは、「*IBM System Storage DS[®] ストレージ・マネージャーバージョン 10* インストールおよびホスト・サポートのガイド」を参照してください。

ストレージ・サブシステムのディスカバーとセットアップ

ストレージ・サブシステムをディスカバーおよびセットアップするには、以下の手順を実行します。

1. 管理ステーションからストレージ・マネージャー・ソフトウェアを開始します。「Enterprise Management (エンタープライズ管理)」ウィンドウと「Confirm Initial Automatic Discovery (初期自動ディスカバリーの確認)」ウィンドウが開きます。
2. ストレージ・サブシステムをディスカバーするには「Enterprise Management (エンタープライズ管理)」ウィンドウから「**Automatic Discovery (自動ディスカバリー)**」を選択します。初期自動ディスカバリーが完了すると、ローカル・サブネットワークに接続されているすべてのホストとストレージ・サブシステムが「Enterprise Management (エンタープライズ管理)」ウィンドウに表示されます。

注: ローカル・サブネットワークの外部にあるストレージ・サブシステムをディスカバーするには、「**Edit (編集)**」>「**Add Storage Subsystem (ストレージ・サブシステムの追加)**」をクリックして、ストレージ・サブシステム・コントローラー管理ポートの IP アドレスまたはリモート・ホストの IP アドレスを手動で入力します。

各コントローラーのデフォルトの IP アドレスは次のとおりです。

- コントローラー A のポート 1 は 192.168.128.101
 - コントローラー A のポート 2 は 192.168.129.101
 - コントローラー B のポート 1 は 192.168.128.102
 - コントローラー B のポート 2 は 192.168.129.102
 - 両方のイーサネット・ポートのサブネット・マスクは 255.255.255.0
3. 「**Rename the Storage Subsystem (ストレージ・サブシステムの名前変更)**」をクリックします。DCS3700、またはパフォーマンス・モジュール・コントローラー搭載の DCS3700 ストレージ・サブシステムのシリアル番号を、サブシステム名の最初の部分として使用します。ホスト名は最大 30 文字です。

4. 「**Locate the Storage Subsystem (ストレージ・サブシステムの検出)**」をクリックします。選択したストレージ・サブシステム前面で青色の LED が明滅します。該当のストレージ・サブシステムに、その関連付けられた名前のラベルを付けます。
5. 目的のストレージ・サブシステムを強調表示し、「**Tools (ツール)**」>「**Manage Storage Subsystem (ストレージ・サブシステムの管理)**」をクリックして、「Manage Storage Subsystem (サブシステムの管理)」ウィンドウと「Task Assistant (タスク・アシスタント)」を開きます。
6. ストレージ・サブシステムが「Optimal (最適)」状態でない場合、「Task Assistant (タスク・アシスタント)」で「**Recover from Failure (障害からのリカバリー)**」アイコンをクリックします。Recovery Guru の手順に従ってください。ストレージ・サブシステムが「Optimal (最適)」状態の場合、「Task Assistant (タスク・アシスタント)」を閉じます。
7. 「Subsystem Management (サブシステム管理)」ウィンドウで、「**Storage Subsystem (ストレージ・サブシステム)**」>「**View (表示)**」>「**Profile (プロファイル)**」をクリックします。「**Controller Firmware (コントローラー・ファームウェア)**」、「**NVSRAM**」、「**ESM Firmware (ESM ファームウェア)**」、「**Drive Product ID (ドライブの製品 ID)**」、および「**Firmware Versions (ファームウェアのバージョン)**」タブをクリックして、後で使用できるように、それぞれの番号を次の表に書き留めます。

コントローラー・ファーム
ウェア:

NVSRAM:

ESM ファームウェア:

ドライブの製品 ID:

ファームウェアのバージョン:

8. 将来使用するために、プロファイルを保存し、プロファイル・ウィンドウを閉じます。

注: ストレージ・サブシステムの構成変更を行った場合は、ストレージ・サブシステムのプロファイルおよび「Collect All Support Data (すべてのサポート・データの収集)」バンドルのコピーを保存します。

IBM Support Web サイトからの情報の入手

本書「クイック・スタート・ガイド」、および他の IBM System Storage 情報で説明されている IBM System Storage の資料は、IBM Support Web サイトに掲載されています。IBM Support Web サイトに掲載されている最新の資料、ダウンロード、およびその他の技術更新情報にアクセスするには、次の手順で行います。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。ファームウェアおよび資料を見つけるための手順は、本書で説明している内容と少し異なる場合があります。

1. <http://www.ibm.com/systems/storage/support/> に進みます。
2. IBM Support Portal の「Quick Start」ウィンドウで、「**System storage**」>「**Disk systems**」を展開して、ご使用の製品にナビゲートします。
3. 「**Downloads**」または「**Documentation**」を選択して、「**Continue**」をクリックします。

注: デバイス・ドライバーおよびファームウェアのバージョンの詳細については、それぞれのパッケージに記載されている README ファイルを必ずお読みください。

ストレージ・サブシステム・ファームウェアの更新

注: 19 ページの『ソフトウェアのインストール』に記載されているすべての手順を完了すると、ストレージ・マネージャーのホスト・コードと HBA の BIOS およびデバイス・ドライバは最新状態になります。

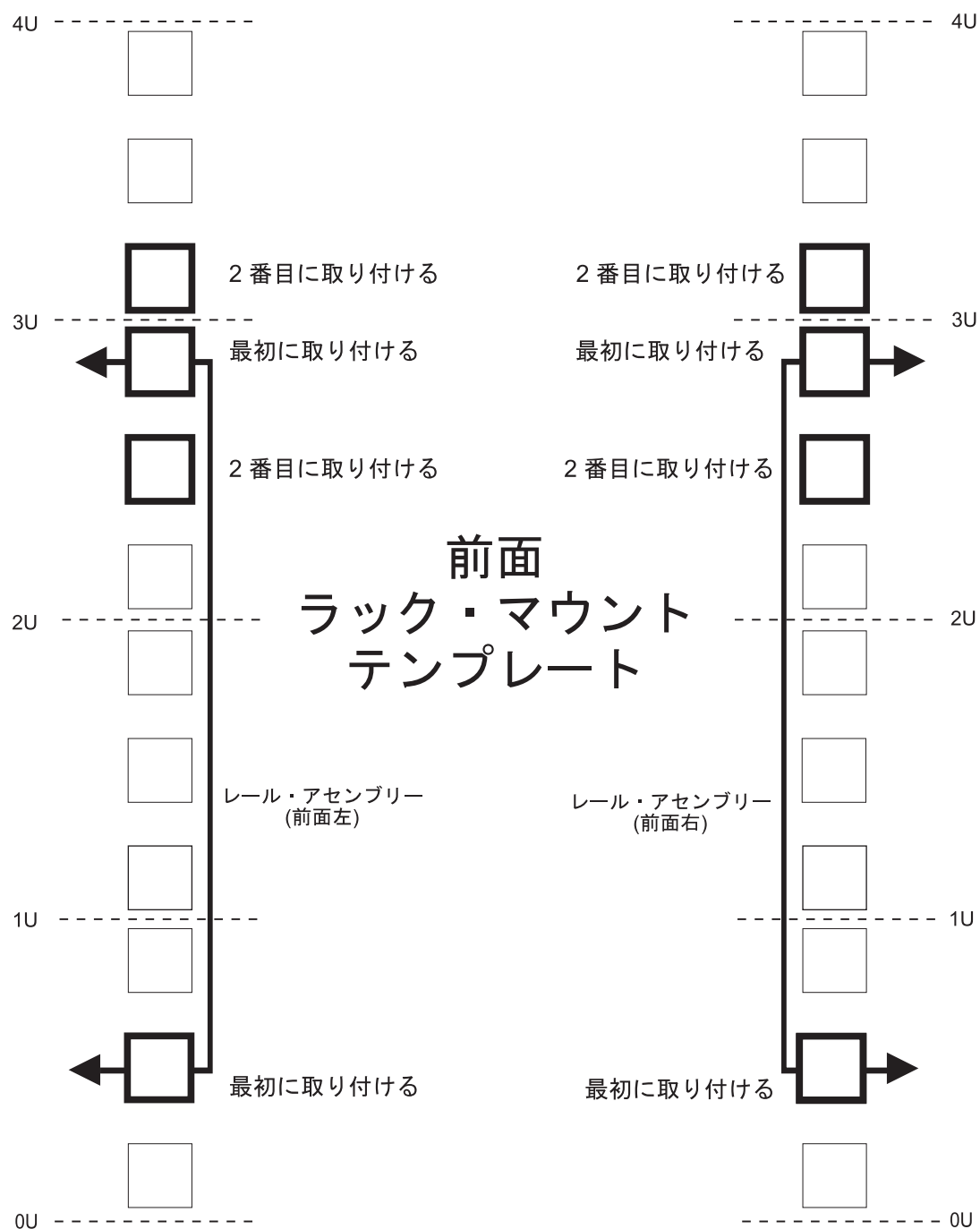
「Subsystem Management (サブシステム管理)」ウィンドウで、「**Advanced (拡張)**」>「**Maintenance (メンテナンス)**」>「**Download (ダウンロード)**」をクリックします。次のオプションをリストされている順番で選択します。

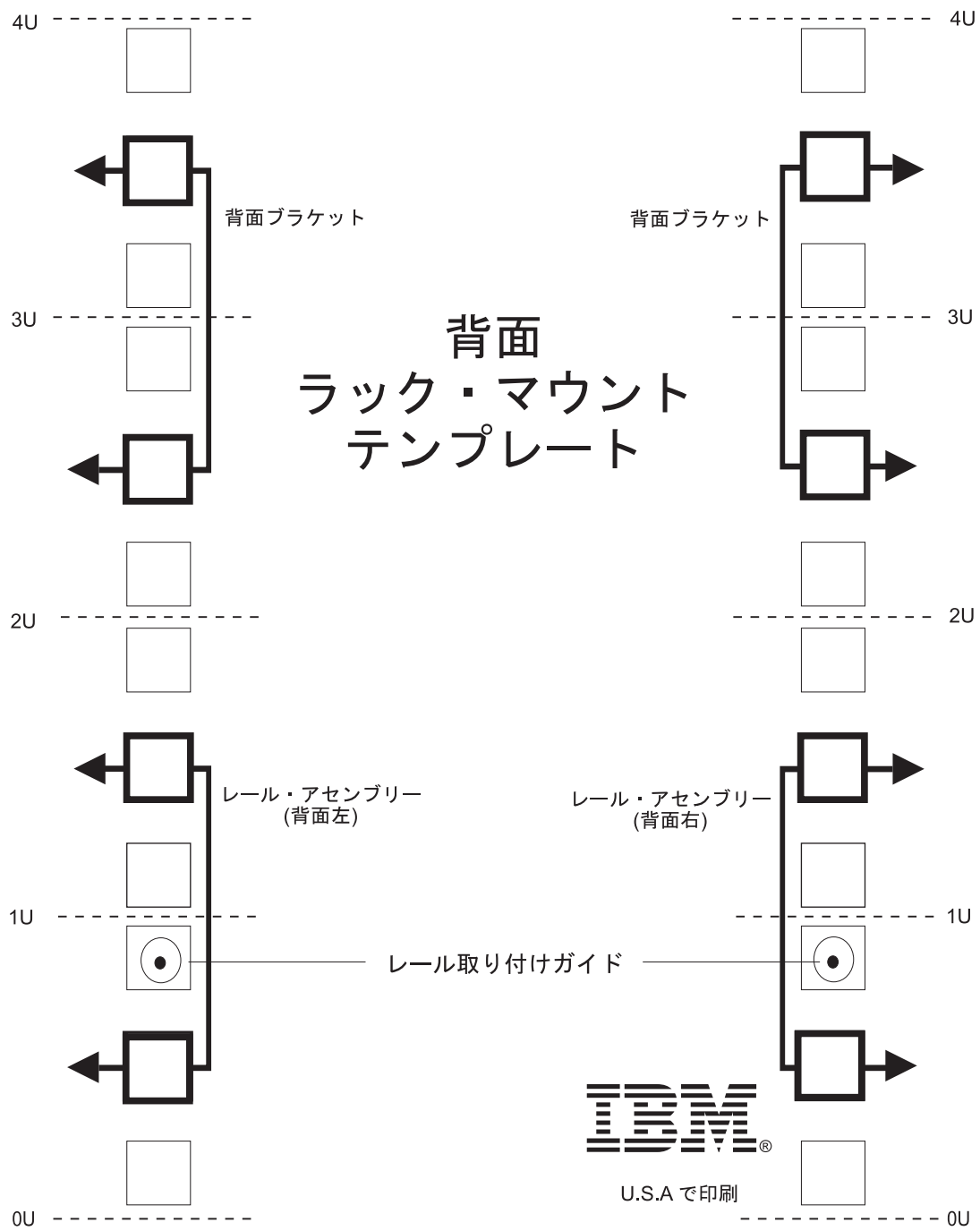
1. コントローラー・ファームウェア
2. コントローラー NVSRAM
3. ESM ファームウェア
4. ドライブ・ファームウェア

ストレージ・サブシステムの構成

「Subsystem Management (サブシステム管理)」ウィンドウで、「**View (表示)**」>「**Task Assistant (タスク・アシスタント)**」をクリックします。ストレージ・サブシステムが「**Optimal (最適)**」の場合、次のタスクをリスト順に実行します。

1. ストレージ・サブシステムでの問題のアラート通知を構成
2. ホストの定義
3. 新規ストレージ区画の作成
4. 構成を保存
5. パスワードの設定または変更





第 3 刷 2012.10

Printed in Japan

IBM および System Storage は、IBM Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

© Copyright IBM Corporation 2012.

GA88-4439-02

(英文原典 : GA32-0960-02)

